

4. 次期の見通し

当社は、今夏の電力需給を万全なものにするため、様々な需給対策の検討を進めておりますが、泊発電所1・2号機の発電再開がないとした場合、やむを得ない選択肢としてお客さまに節電のご協力をお願いせざるを得なくなることも想定しております。

このため、現時点においては今後の販売電力量を見通せないことから、売上高につきましては、連結・単独ともに「未定」といたします。

また、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、売上高を見通せないことに加え、泊発電所1・2号機の発電再開時期が確定していないことから、燃料費などの費用を合理的に算定することができないため、連結・単独ともに「未定」といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

北海道の電力の安定供給にとって重要な電源である泊発電所の安全確保に万全を期すとともに、ストレステストへの的確に対応し、地域のみなさまのご理解をいただきながら、泊発電所1・2号機の1日も早い発電再開を目指してまいります。加えて、さらなる安全性・信頼性の向上のため、中長期的な安全対策を早期に実施してまいります。

今後も安定配当維持の基本方針に変わりはありませんが、泊発電所1・2号機の発電再開時期が確定していない状況が続いていることから、次期の配当金につきましては「未定」とさせていただきます。